

ベトナムの貿易収支の状況(2025年10-12月期)



《ベトナムの2025年10-12月期の貿易収支は30億ドルの黒字》

2025年10-12月期のベトナムの輸出額（推定値、以下同様）は前年同期比18.9%増の1,251億ドルだった。企業形態別でみると、国内企業の輸出額は同14.8%減の265億ドル、FDI企業(Foreign Direct Investment)の略で海外資本の直接投資によって設立された企業)の輸出額は同33.0%増の986億ドルだった。米国の相互関税や世界経済減速の影響を受けて国内企業の輸出は厳しい状況だったが、FDI企業の輸出はベトナムの輸出拠点としての評価の高まりを背景に大幅な増加となっている。月次の前年同月比増減率の推移をみると、3月の12.9%増をボトムに4月以降は拡大傾向が続き、6月が24.4%増、9月が37.5%増、12月が38.4%増となっている。

10-12月期の品目別の輸出額をみると、電子機器等の輸出額が前年同期比55.2%増の302億ドルと大きく伸びて全体を牽引している。この急拡大は、台湾の大手IT関連企業(フォックスコム、インベントックなど)がデータセンター向けサーバーの生産拠点を相次いでベトナムに移転させていることが背景にある。また、迂回輸出認定を避けるため、AI(人工知能)搭載の最先端製品の開発や設計をベトナムで行い、ベトナムでの高付加価値化も急速に進めている。輸出数量増加と単価の大幅な上昇が両輪となって、電子機器等の輸出額が急増しているようだ。一方、このほかの主な品目は、機械・設備等が同12.3%増の160億ドル、電話機等が同9.3%増の131億ドル、繊維製品・衣料品が同2.5%増の98億ドルなどとなっている。トータルで考えると、ベトナムの国際的なサプライチェーンにおける重要性が高まったと評価できる部分もあるが、国内企業の輸出不振と合わせて考えると、世界経済の停滞の影響も色濃くうかがえる状況だったといえそうだ。

10-12月期の輸入額は同20.3%増の1,221億ドルだった。国内企業の輸入額は同4.9%減の372億ドル、FDI企業の輸入額は同36.2%増の848億ドルだった。輸出の好調を反映し、仕入が増加したため電子機器等の輸入額が同45.5%増の407億ドルとなり、全体の増加を牽引した。なお、仕入増加はこの先の輸出拡大継続を示唆しているとみることができよう。このほか、国内の設備投資好調を反映して機械・設備等は同25.0%増の167億ドルだった。以上の結果、10-12月期のベトナムの貿易収支の黒字額は30億ドル(前年同期実績は37億ドル)だった。国内企業の貿易収支の赤字額は107億ドル(同80億ドル)、FDI企業の貿易収支の黒字額は137億ドル(同118億ドル)だった。

図表1 ベトナムの2025年10-12月期の貿易収支の状況

		輸出				輸入				収支	
		10-12月		12月単月		10-12月		12月単月		10-12月累計	12月単月
		金額(百万ドル)	前年同期比(%)	金額(百万ドル)	前年同期比(%)	金額(百万ドル)	前年同期比(%)	金額(百万ドル)	前年同期比(%)	金額(百万ドル)	
総額		125,155	18.9	44,031	23.8	122,115	20.3	44,687	27.7	3,040	-656
内訳	国内企業	26,537	-14.8	9,705	-9.8	37,295	-4.9	14,573	4.1	-10,758	-4,868
	FDI企業	98,617	33.0	34,326	38.4	84,821	36.2	30,114	43.4	13,796	4,212

出所 ベトナム統計局の資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20260109

本資料は情報提供目的としたものであり、投資勧説を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。